

令和2年度 富岡東地域ケアプラザPDCAシート\_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

担当エリアの富岡第二地区と金沢シーサイドタウン地区はそれぞれに65歳以上の人口割合が増え、今後急速に高齢化が進行する見込みである。介護予防、ロコモ予防等の取り組みは引き続き重要であるが、それでも地形や住居の制約、疾患等から移動が困難になり、地域社会から孤立する方が増えるリスクが高い地域であると思われる。  
地域支援の担い手の発掘と見守りを兼ねた気軽に立ち寄れる居場所を各地区につくっていくことが必要であると思われる。

今年度の重点的な取組

新規  
継続

—具体的な取組内容—

- |                          |                                     |  |
|--------------------------|-------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | エリア内の誰もが気軽に立ち寄れる場所に、地域住民の居場所となる拠点を、住民主体で継続的に設置できるよう調査、交渉を行っていく。  |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 認知症の方や家族から話を聞く機会を設けるなど「認知症を前提とする社会」についての普及啓発を行い、認知症は「誰にも関わること。誰もが関わること」ということを意識して、日常の中でできることを一緒に考える機会を設ける。 |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 毎月の会議等で地域課題について情報交換を行い、地域ケア会議の議題として適切なケースを検討する。  |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 地域資源情報シートのアップデートを行い、現在有効な情報を把握することで、適切な支援先への情報提供ができるようにする。   |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 基幹相談支援センターや後見の支援室等との連携事業を通じて、高齢化していく障害者の権利擁護につなげていく。   |

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

コロナ禍でなかなか事業を再開できず人数制限を行いながらケアプラザで行っている事業(障がい者支援、子育て支援など)に参加していただき実施できました。高齢化も進むなか介護予防支援に力を入れ健歩教室、認知症サポーター養成講座を開催し広報誌を配布することにより参加希望者を呼び込むことができました。  
昨年に同様に相談件数も増えており、地域の急速な高齢化が進んでいることを実感している。  
ケースカンファレンスに全職種で参加し、地域の個別ケースから新たな課題を見つけて事業に結び付けていくことを心掛けてきた。まだ具体的な策は見つけられていないが、これらを今後の事業につなげていきたい。

区からのコメント

コロナ禍で思うような事業展開ができない1年だったと思います。地域の行事も軒並み中止となる中、感染症拡大に十分留意し、対策をとりながら事業に取り組んでいただき、活動団体間の連携のコーディネートも行っていました。  
SNS研修をいち早く企画し、参加者のニーズに沿った講師選定や内容で開催していただきました。認知症のサポーター養成講座や研修にもZOOMを用いた情報共有を取り入れていただき、新しい生活様式の状況に対応した事業展開をケアプラザ全体で行っていただいています。また、休止している活動や閉じこもりがちになる高齢者の状況を捉え、日頃の生活に取り入れることができる介護予防の講座をエリアの特徴に合わせて実施し、新規参加者を活動につなげていただきました。今後も地域のニーズに沿った取組を引き続きお願いいたします。